

出力軸部の強度チェック

IB シリーズ PK1 タイプでは最大負荷モーメント容量が大きく取れる、アンギュラ軸受を使用しております。下記要領によって、お客様がお使い時の負荷モーメントが許容値を超えていないか、確認してください。

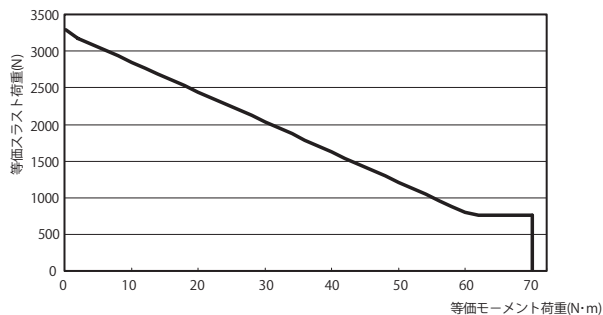
1. 最大負荷モーメントのチェック

$$M_{max} = \frac{Fr_{max} \cdot (L_c + L_r) + Fa_{max} \cdot L_a}{10^3} \quad \dots (1)$$

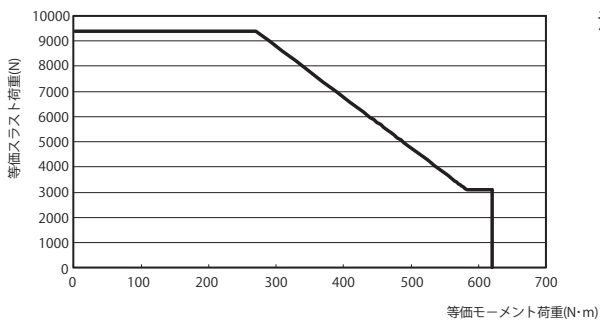
$M_{max} \leq Mc$ (許容モーメント) である事を確認してください。

表 E8 PK1 タイプ許容モーメント Mc

枠番	モーメント荷重	スラスト荷重
	N·m	N
PK110	70	3300
PK120	300	4800
PK130	620	9400



PK110 許容モーメント - スラスト荷重線図



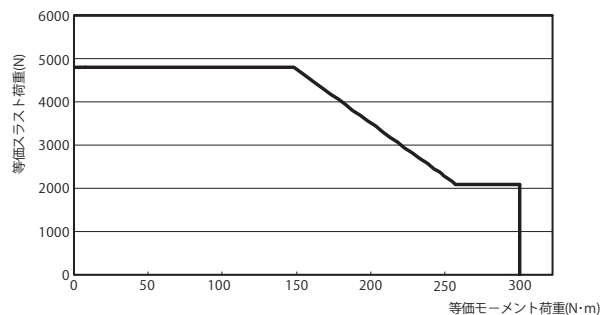
PK130 許容モーメント - スラスト荷重線図

表 E7 式 (1) の記号

Fr_{max}	運転パターンに於ける最大ラジアル荷重	N	図 E6 参照
Fa_{max}	運転パターンに於ける最大スラスト荷重	N	
L_r, L_c, L_a	荷重作用位置	mm	図 E5 参照

表 E9 寸法

枠番	寸法 (mm)				
	L_b	L_c	S	L	Z
PK110	52.76	42.38	2	28	19.62
PK120	82.56	64.53	2	42	25.97
PK130	109.02	86.26	4	82	63.24



PK120 許容モーメント - スラスト荷重線図

- 注) 1. ラジアル荷重の作用位置が $[L+S]$ の範囲外にある場合は、お問合せください。
 2. 許容線図範囲外でも、スラスト荷重の方向、荷重の作用位置によっては、問題ない場合があります。その際には、お問合せください。

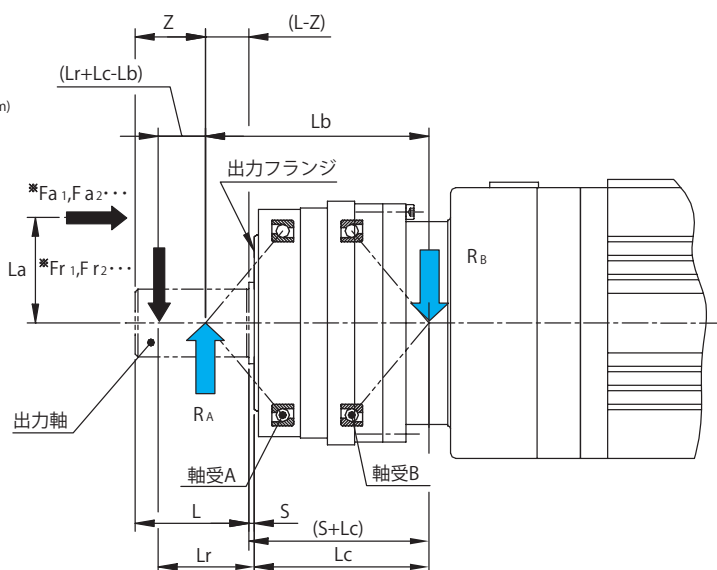


図 E5 外部荷重作用図

注) 図 E6 参照 (運転パターンにおける各区間の荷重を示します。)